

NY マーケットレポート (2018 年 3 月 21 日)

2018年3月21日 (水)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%	TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
日経平均	休 場			USD/JPY	106.33	106.55	106.31
ハンセン指数	31414.52	-135.41	5.00%	EUR/JPY	130.55	130.61	130.40
上海総合	3280.95	-9.69	-0.79%	GBP/JPY	149.14	149.23	149.03
韓国総合	2484.97	-0.55	0.71%	AUD/JPY	81.88	82.02	81.83
豪ASX200	5950.27	+13.89	-1.89%	NZD/JPY	76.31	76.58	76.30
インドSENSEX	33136.18	+139.42	-2.70%	EUR/USD	1.2280	1.2282	1.2241

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7038.97	-22.30	-8.44%	NY GOLD	1321.50	+9.60	2.3%
仏CAC40	5239.74	-12.69	-1.37%	NY 原油	65.17	+1.63	4.9%
独DAX	12309.15	+1.82	-4.71%	COBTコーン	375.00	+0.50	6.9%
スペインIBX35	9630.90	-50.70	-4.11%	CRB指数	196.02	+1.865	1.1%
イタリアFTSE MIB	22820.12	+21.97	4.42%	ドル指数先物	89.783	-0.588	-2.5%
南ア全株指数	58288.87	+200.45	-2.04%	VIX指数	17.86	-0.34	57.9%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%	NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
米ダウ平均	24682.31	-44.96	-0.15%	USD/JPY	105.96	106.64	105.88
S&P500	2711.93	-5.01	1.43%	EUR/JPY	130.80	131.06	130.30
NASDAQ	7345.29	-19.02	6.40%	GBP/JPY	149.90	150.31	149.21
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%	AUD/JPY	82.31	82.57	81.55
トロント総合	15675.28	+58.92	-3.29%	EUR/USD	1.2345	1.2350	1.2252
ボルサ指数	47521.84	+445.33	-3.71%				
ボバスバ指数	84976.59	+812.79	11.22%				

※一部暫定値

3/22 経済指標スケジュール

09:30	【オーストラリア】2月失業率・2月雇用者数
13:30	【日本】1月全産業活動指数
14:00	【日本】2月全国スーパー売上高
14:30	【日本】2月百貨店売上高
16:45	【フランス】3月企業景況感指数
16:45	【フランス】3月生産アウトルック指数
17:00	～ 18:00
	【仏】【独】【欧】3月製造業PMI・非製造業PMI
18:00	【欧州】欧州中銀経済報告
18:00	【欧州】1月経常収支
18:00	【ドイツ】3月景気動向
18:30	【英国】2月小売売上高指数
20:00	【南アフリカ】1月実質小売売上高
20:30	【トルコ】3月景気動向指数・3月設備稼働率
21:00	【英国】政策金利発表・英中銀議事録
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
22:00	【米国】1月住宅価格指数
22:45	【米国】3月マークイット米国製造業PMI・サービス業PMI
23:00	【米国】2月景気先行指標総合指数
23:30	【米国】EIA天然ガス貯蔵量
00:00	【米国】3月カンザスシティ連銀製造業活動指数

3/22 主要会議・講演・その他予定

- ・ EU主要会議 (～23日)
- ・ 米10年TIPS債入札

Crypto Currency	本 日	前 日
CBOE Bitcoin(先物・期近)	8890	8940
CME Bitcoin(先物・期近)	8895	8920
Ripple (BSTP)	0.678	0.707
Ethereum (BSTP)	559.99	558.60
Bitcoin Cash	1032.16	1058.75

※USD 6:00時点

日本国債利回り	本 日	前 日
2年債	休 場	-0.15%
5年債	休 場	-0.11%
10年債	休 場	0.04%
30年債	休 場	0.76%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.59%	0.59%
英国 10年債	1.53%	1.49%
フランス 10年債	0.83%	0.83%
米国債利回り		
2年債	2.31%	2.35%
3年債	2.46%	2.49%
5年債	2.67%	2.70%
7年債	2.81%	2.83%
10年債	2.88%	2.90%
30年債	3.12%	3.13%

NY 市場レポート

◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、FOMC の結果発表を控えて様子見ムードが強まっており、ドル円・クロス円は序盤から小動きの展開となった。そして、注目された FOMC では、市場の予想通り 0.25% の追加利上げが決定されたが、加速が期待されていた年内の利上げペースが維持されたことから、加速を期待した向きの失望もあり、ドル売りとなる場面もあった。また、パウエル FRB 議長が就任後初の記者会見で、賃金の伸びが加速する兆候は見られないとの認識を示したことも影響し、ドル売りが加速した。一方、米株式市場では、追加利上げが決定されたことで、金利の上昇が企業収益に与える影響が意識され、主要株価は売りが優勢となり、マイナス圏まで下落して引けた。

G20、共同声明を採択して閉幕（20 日）

アルゼンチンで開かれている 20 カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議は、共同声明を採択して閉幕した。

会議では仮想通貨取引について協議されたほか、トランプ米政権が鉄鋼・アルミニウムの輸入制限を打ち出す中、保護主義的な貿易政策への反対意見が相次いだ。また、匿名性が高い取引も可能な仮想通貨は、マネーロンダリング（資金洗浄）などへの悪用が懸念されており、国際的な規制強化の必要性などについて協議された。

共同声明では、世界経済は引き続き改善しているとの認識を示した。通貨の切り下げ競争を回避するなどの従来の表現を踏襲した。テロ資金の温床となる仮想通貨の悪用防止に向けて、国際団体に監視を要請することも明記された。

20 カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議の声明骨子（ブエノスアイレス共同）

- ・世界経済は引き続き改善しているが、下方リスクは根強い。
- ・反保護主義に関して昨年の G20 首脳宣言の合意を再確認。さらなる対話と行動の必要性を認識。
- ・持続的な成長へ全ての政策手段を用いることに合意。
- ・通貨の切り下げ競争を回避。
- ・国際組織が仮想通貨やそのリスクを監視するよう要請。
- ・世界規模で公正、現代的な国際課税システムのための取り組みを続ける。

米主要な経済指標

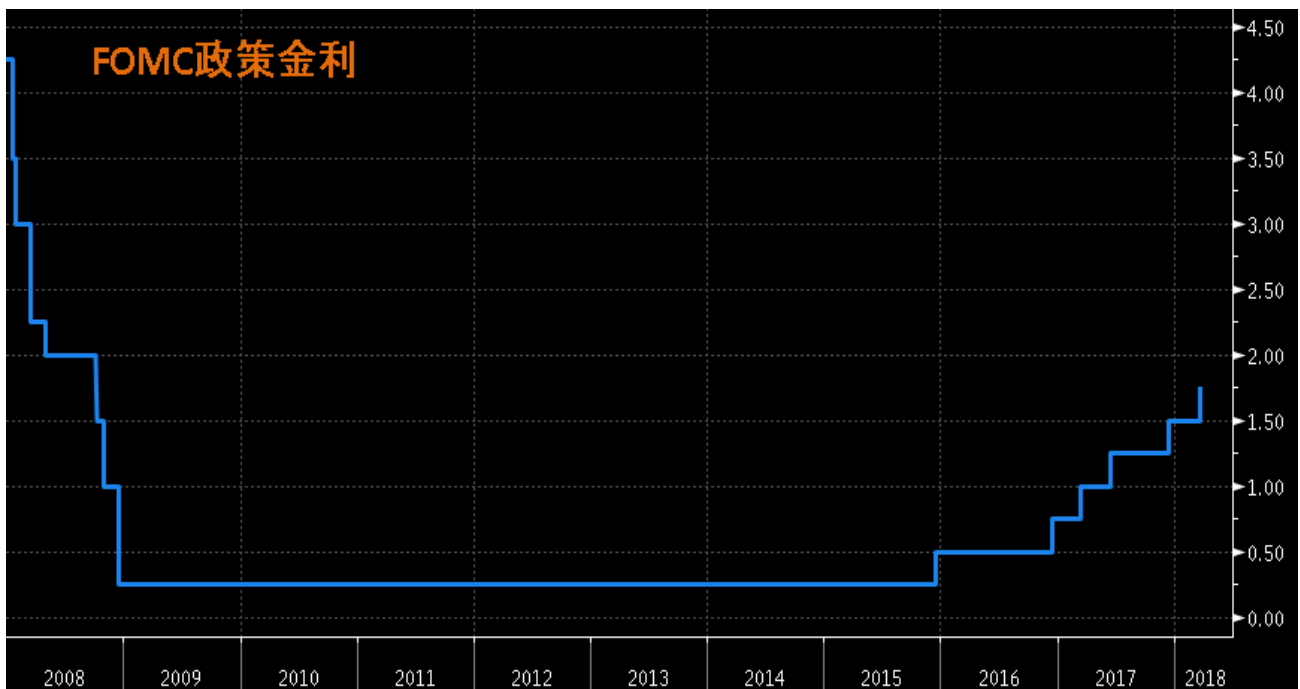
2 月米中古住宅販売件数 554 万件（予想 540 万件・前回 538 万件）

2 月米中古住宅販売件数（前月比） 3.0%（予想 0.4%・前回 -3.2%）

2 月の米中古住宅販売件数は、市場予想を上回る結果となった。前年比では+1.1%だった。一戸建て住宅は、前月比+4.2%の 496 万件、前年比では+1.8%。集合住宅は-6.5%の 58 万件、前年比では-4.9%だった。地域別の販売は、北東部が-12.3%、中西部が-2.4%、南部は+6.6%、西部は+11.4%だった。市場の住宅在庫は、前月比+4.6%の 159 万件、前年比は-8.1%だった。販売に対する在庫率は 3.4 ヶ月で前月から変わらなかった。成約物件の中間販売価格は、前年比+5.9%の 24 万 1700 ドル、平均販売価格は+4.3%の 28 万 1200 ドルだった。



FOMC 政策金利 1.50%-1.75% (予想 1.50%-1.75%・前回 1.25%-1.50%)



FOMC 声明

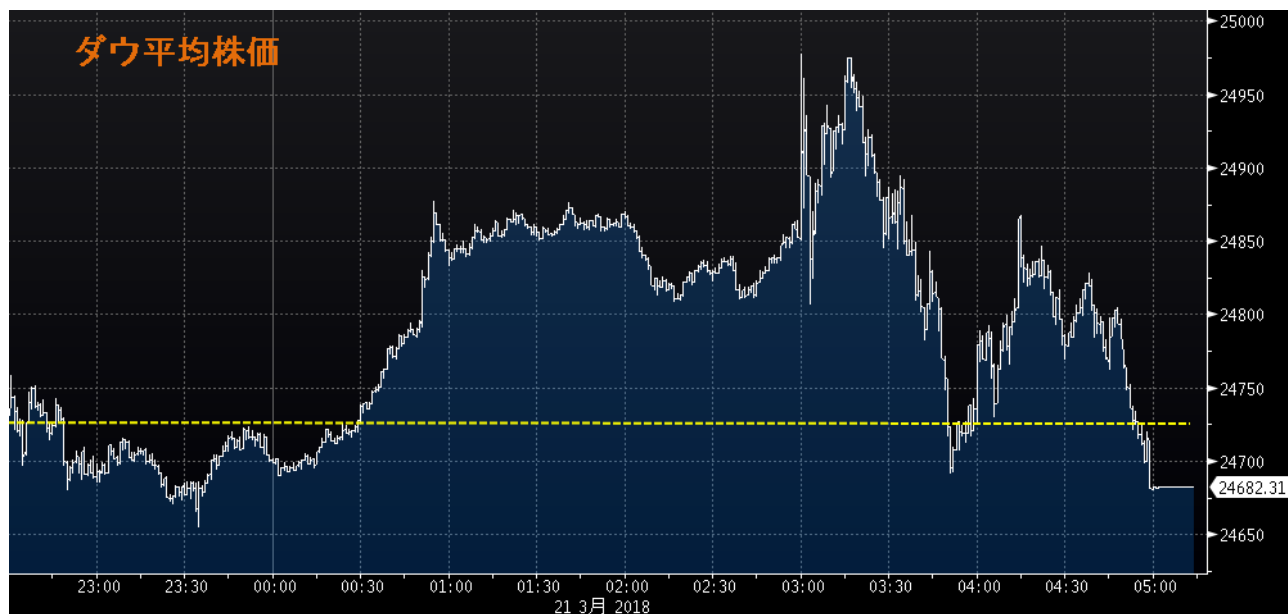
- ・FF 金利誘導目標を 1.5%-1.75%に引き上げ
- ・年内あと 2 回の追加利上げを想定
- ・経済見通し、この数ヵ月で力強さを増した
- ・支出と投資、強い第 4 四半期から緩やかになった
- ・インフレは向こう数ヵ月で上昇、2%前後で安定へ

パウエルF R B 議長の定例会見主な発言

- ・ 漸進的な利上げが経済にもたらす好影響継続へ
- ・ 遅すぎる利上げペース、経済にリスクもたらす
- ・ 金利については中道的な道筋を試みている
- ・ 記者会見の回数増加、慎重に検討
- ・ 関税についても協議、通商政策を企業は懸念し始めた
- ・ 貿易措置、さらに広がれば見通しに影響与えかねない
- ・ 危機前のような過剰リスクテークやレバレッジはない
- ・ 減税が経済に与える影響、極めて不確実
- ・ 貿易はより顕著な見通しリスクになった
- ・ 指標からはインフレ加速の兆候みられず
- ・ インフレ率は 2% を上回る可能性もあれば下回る可能性もある
- ・ インフレ低迷は昨年からの通常でない物価下落を反映

米主要株価はマイナス圏に落ち込んで引けた

株式市場は、序盤から底固い動きとなり、石油在庫統計を受けて、原油価格が大きく上昇したことを好感して、石油関連株が全体を押し上げる展開となった。ただ、FOMC で追加利上げが決定されたことで、金利の上昇が企業収益与える悪影響が意識され、売りが優勢となり、主要株価はマイナス圏まで下落した。ダウ平均株価は、一時 250 ドル高まで上昇したものの、マイナス圏まで下落して引けた。



出所：Bloomberg

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	消費財	-1.00%	1	アップル	-2.27%
2	ヘルスケア	-0.89%	2	ユナイテッドH	-1.75%
3	通信サービス	-0.86%	3	P&G	-4.62%
	素材	1.57%		GE	1.76%
	石油・ガス	1.90%		シェブロン	2.22%

出所：データを基に SBILM が作成

ドルは 105 円台まで下落も、底固い動き

NY 市場では、東京市場が休場だったことや、FOMC の結果発表を控えて様子見ムードが強まっていたこともあり、ドル円・クロス円は序盤から小動きの展開となった。そして、注目された FOMC では、市場の予想通り 0.25% の追加利上げが決定されたが、加速が期待されていた年内の利上げペースが維持されたことから、加速を期待した向きの失望もあり、ドル売りとなった。また、パウエル FRB 議長が就任後初の記者会見で、賃金の伸びが加速する兆候は見られないとの認識を示したことも影響した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。